

## 対日理解促進交流プログラム JENESYS2019 ASEAN 招へい第 15 陣の記録

テーマ：科学・技術交流，対象国：シンガポール

### 1. プログラム概要

JENESYS2019 の一環として、シンガポールより科学技術分野の学習者（大学生等）20 名が、2019 年 12 月 9 日～12 月 17 日の 8 泊 9 日の日程で来日し、「科学・技術交流」をテーマとしたプログラムに参加しました。本訪日団は、都内で科学技術振興機構やオリンパスミュージアム、東京大学柏キャンパス等を視察し、日本の科学技術分野における持続的な取り組みについて学びました。その後、宮城県を訪問し、東北大学にて交流を行ったほか、ロケットの心臓部となるエンジンの研究・開発を行っている JAXA 角田宇宙センターを訪問するなど、最先端技術の現場を視察しました。一行はプログラム中、日本の技術力の高さや地域資源の活用に強い興味を示し、各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。また、帰国前の報告会では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン（活動計画）についてグループ毎に発表しました。

【参加国・人数】シンガポール 20 名

【訪問地】東京都，宮城県

### 2. 日程

- |           |  |
|-----------|--|
| 12月 9日（月） | 来日【オリエンテーション】<br>【聴講】日本の対シンガポール外交姿勢                |
| 12月10日（火） | 【視察・聴講】国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）<br>【視察】オリンパスミュージアム   |
| 12月11日（水） | 【視察】メタウォーター株式会社<br>【交流・視察】東京大学 柏キャンパス 物性研究所        |
| 12月12日（木） | 東京都から宮城県へ移動<br>【表敬・聴講】宮城県庁<br>【交流・視察】東北大学 青葉山キャンパス |
| 12月13日（金） | 【参観】仙台城 瑞鳳殿<br>【視察】JAXA 角田宇宙センター（宇宙工学）             |

- 12月14日(土) 【視察・聴講】南三陸語り部による学びのプログラム(防災)  
 【アクティビティ】レザークラフト体験  
 【民泊】南三陸観光協会
- 12月15日(日) 【民泊】南三陸観光協会  
 宮城県から東京へ  
 【参観】皇居前広場 二重橋
- 12月16日(月) 【表敬】在京シンガポール大使館  
 【ワークショップ】【報告会】
- 12月17日(火) 帰国

### 3. プログラム記録写真

	
<p>12月9日【聴講】 日本の対シンガポール外交姿勢</p>	<p>12月9日【聴講】 日本の対シンガポール外交姿勢</p>
	
<p>12月10日【視察・聴講】 国立研究開発法人 科学技術振興機構</p>	<p>12月10日【視察】 オリンパスミュージアム</p>



12月11日【視察】  
メタウォーター株式会社



12月11日【交流・視察】  
東京大学 柏キャンパス 物性研究所



12月12日【表敬・聴講】  
宮城県庁



12月12日【交流・視察】  
東北大学 青葉山キャンパス



12月13日【参観】  
仙台城 瑞鳳殿



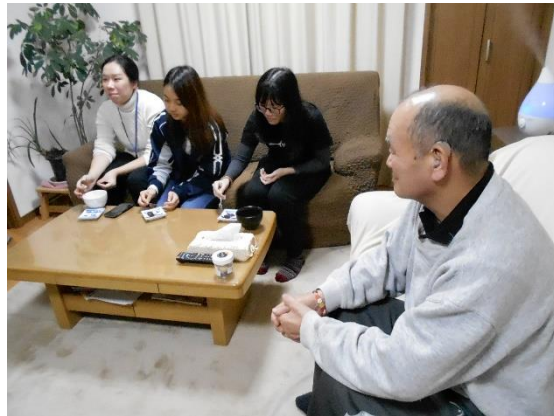
12月13日【視察】  
JAXA 角田宇宙センター（宇宙工学）



12月14日【視察・聴講】  
南三陸語り部による学びのプログラム



12月14日【アクティビティ】  
レザークラフト体験



12月14日【民泊】  
南三陸観光協会



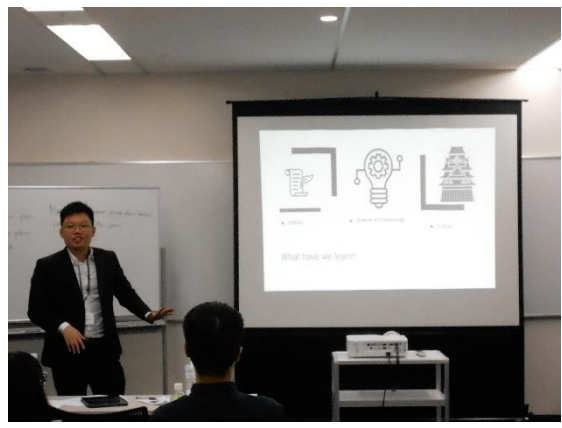
12月15日【参観】  
皇居前広場 二重橋



12月16日【表敬】  
在京シンガポール大使館



12月16日【ワークショップ】

	
<p>12月16日【報告会】</p>	

#### 4. 参加者の感想（抜粋）

##### ◆ シンガポール 大学院生

日本は、とても美しい国です。私は日本文化について深い理解と感銘を得ることができ、このプログラムに参加して本当に良かったです。私達は東京大学と東北大学を訪問し、現代の科学と最先端技術の施設等を視察する機会を得ました。さらに、2011年に起きた東日本大震災と津波で影響を受けた場所も訪問することができました。たくさん日本人がどんなに苦しんだり、悲しんだりしたのかと思うと、心が痛みました。しかしながらインフラ整備の完成など、被災地の方々の復興に向けての不屈の精神に目を見張るものがあり、勇気づけられました。また、南三陸でホームステイを体験し、地域住民と交流しました。ホストファミリーと一緒に過ごすことは、より日本人とその文化を知ることのできる良い機会でした。

##### ◆ シンガポール 高専生

日本の歴史に非常に感銘を受け、その闘争（政治的および自然災害）は日本を伝説的な国にしました。シンガポールには学ぶべきことがたくさんあります。日本人は国家を自分より優先し、仕事に誇りを持っている非常に慈悲深い人々です。私は、日本はいつも清潔で礼儀正しい国だという先入観を持っていました。それは正しかった。今回の旅行で、日本の文化、完璧への献身、そして彼らの優雅さを味わうことができました。私が本当に感動したのは、仙台を襲った東日本大震災でした。市民の回復力と優しさは、自然災害の残虐行為を上回り、シンガポール市民が学ぶべきものです。個人的に、シンガポールは、特に持続可能性を達成するための献身に関して、改善できると信じています。シンガポールと日本は、人口の高齢化など、私たちが直面している問題の点で似ています。

◆ シンガポール 大学生

日本は活気に満ちた多様な国であり、海外からの旅行者が考慮すべき活動やビジネスチャンスがたくさんあります。東京の明るい街の明かりから、宮城の緑の牧草地と青い海まで、見ることややることはたくさんあります。私は日本人のホストから示された温かいおもてなし、優しさ、寛大さを決して忘れませんし、将来また戻ってくるでしょう。私は、研究、ビジネス、グローバルな政治において、シンガポールと日本の多くの協力の道を見据えています。将来、権威のある立場にいるならば、日本は協力すべき潜在的な国と考えます。

5. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆ メタウォーター株式会社

シンガポールからの訪日団という事で弊社としてシンガポールで施行された案件を議題に取り上げ、既存技術との違い、他国で展開する上でのビジネスモデル策定やその苦勞、コスト回収スパン、ITにおける情報収集や展開方法など質疑応答の内容は流石にレベルが高く回答お預りが出る程好評であった。

◆ 宮城県庁

震災からの復興状況について約1時間割いたが、シンガポールは自然災害は少ないが海面上昇の危機にあり、今回の訪問で何か宮城から学べる事はないかという将来的な展望への質問が多く上がったの印象的でした。

◆ 南三陸町観光協会（民泊体験）

震災の歴史と3.11体験、町の歴史や地形、被災体験と非難生活、復興計画について神妙な面持ちで聞き入っていただき感心しました。

またモノづくりとして木工作り体験を民泊ではお茶立て、クリスマスツリー飾りつけ体験、炬燵みかん体験等思い出作りが提供出来て良かった。

## 6. 参加者の対外発信

<p>オリンパスミュージアムについての発信。</p>	<p>南三陸町の東日本大震災関連とホームステイについての発信。</p>

## 7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

<p>アクション・プランの発表 1</p>	<p>アクション・プランの発表 2</p>

<p>JENESYS 2019 を要約した「フォトコラージュ」によって、このプログラムに参加して得た知識や学ぶべき重要なポイントを共有する。Facebook や Instagram、Twitter 等の発信先では、キャプションやコメントも付け加え、重要だと思われる事柄のみならず興味のある面白い場所などをリサーチし、結果を共有。また日本とのつながりを継続するために、Duolingo（ウェブ上の外国語学習サイト）で日本語を学び、より良い相互関係や絆を築く。時間やお金の制約があるので、日本語学校に通う代わりに Duolingo を使い、自分の話す言葉が上手になったら改めて日本語学校に通いたい。</p>	<p>2020 年 2 月に、シンガポールのコミュニティセンターでプレゼンテーションを行う。ターゲットにする視聴者は、日本について調べたり、ニュースを見たり、読んだりするのに、スマートフォンやパソコンという機器をどのように使用したらいいかを知らない高齢の方々。内容としては、南三陸コミュニティセンターを視察をしたり、語り部による学びのプログラムに参加し正確な情報収集ができた、2011 年に起きた東日本大震災と、特に南三陸沖で発生した津波で、自然災害からの復興や、現在の状況に回復したという大きな出来事の情報発信する。</p>
---	---

**事業実施団体：株式会社 J T B**